

始めが肝心、4月のスタート。どんな始業式、どんな懇談会にすればいいか？

「このクラスなら がんばれそう」 「今度の先生は、なかなかいいかもね」

1. 始業式までにしておくこと

- ・教室はピカピカにしておく。きれいな教室は子どもも教師もやる気にさせる
- ・出席簿の名前は手書きで入れる。ハンコではなく手書きにはすばらしい発見がある。
- ・あいさつはどうしよう？学級通信の名前は？学級目標はどうしよう？

2. 始業式にしたいこと その1 心に残る出会いとあいさつを

- ・挨拶は自分の得意を生かす 歌、楽器、絵本、縄跳び、じゃんけん、かけっこ、
- ・一人ひとりの名前は必ず呼んでやる。黒板に名前 or スケッチブックの工夫
- ・さようならの時は・・・高い高い、ハグ、握手、頭を撫ぜ撫ぜ。

3. 始業式にしたいこと その2 初日に連絡帳には必ず一言を

- ・連絡帳に一言書く、忙しくても必ず書く。保護者からの信頼は今後大きく影響する

4. 始業式にしたいこと その3 初日から学級通信を発行

- ・第1号は、自己紹介で十分、そこから「出会い」「気づき」「広がり」がある
- ・第2号は、始業式の出来事を子どもの名前を入れて発行。すると3号が楽しみに

5. 始業式にしたいこと その4 初日から絶対に遊ぶ

- ・この先生は「遊んでくれる」→たとえ5分でも遊ぶことが大事、
それも外遊び → 一番後ろにいる子を必ず見ておく →翌日はその子を一番に
- ・遊びの中に子どもの本音が出てくるし、ここで子どもをつないでいく

6. 4月の懇談会でしたいこと その1 事前の広報、そして準備、そして事後は

- ・待っていてはダメ「来てください」の連呼。学級通信で、電話で、5分間家庭訪問で
- ・名前の札をつくる、お土産の資料をつくる（懇談会にはいつもお土産があるといい）
- ・懇談会に参加した保護者には、翌日の連絡帳にお礼を一言書いておくことを忘れない

7. 4月の懇談会でしたいこと その2 懇談会の始め方は工夫する

- ・歌で始まり、自己紹介ゲーム「〇〇が大好きな△△です」 授業と同じで導入がカギ

8. 4月の懇談会でしたいこと その3 内容は子どもも知っていることを話す

- ・学級目標のこと、休み時間のこと、授業のこと、先生のこと・・・
「おなかの力」「好きづくし」「命の使い方」「優しい人」「その一歩を」「男女仲よし」

9. 4月の懇談会でしたいこと その4 PTA委員の選出は一緒に考える

- ・役員選出が難しい状況になっているからこそ、一緒に考えることで信頼を得る